

平成 29 年度佐世地区社会福祉大会の開催

平成 29 年度佐世地区社会福祉大会を、10 月 29 日（日）午後 1 時 30 分から『みんなが手をつなぎ、楽しく生きていこう！』をメインテーマに掲げ、雲南市市議会議員 細木照子様、大東総合センター所長 中島豊様、社会福祉協議会大東福祉圏域専任理事 山本昇様を来賓にお迎えし開催しました。

サブテーマ『長生きしてよかった』の長寿表彰では、今年白寿（4 名）・米寿（23 名）の方の名前が読み上げられ、当日の出席者 8 名の方それぞれに、振興協議会会長から、祝詞と記念品が手渡されました。

受賞者の皆さまへのインタビューでは、“ここに至るまでの皆さまの支えに感謝”、“米寿を迎えられたことの感謝”、“戦時中で勉強もあまりできなく竹工場で働きながらもここまで来た”など、突然マイクを向けられた皆さんは戸惑われた様子でしたが、今の思いをそのままお話していただきました。皆さんのお話に会場は緊張感が和らぎ、和やかな空気に包まれました。

「これからも、お身体を大切にね…」「私たちもそうありがたい…」の思いが詰まった出席者からの温かい拍手が鳴り響きました。



次に、サブテーマ『一人ひとりを大切に』の福祉活動の取り組み発表では、

- ①佐世地区の福祉活動について 加納克己福祉部部长
- ②サロンにかかわって感じる事 青木美子免別自治会福祉部副部員
- ③福祉推進員として思うこと 川島朝子福祉推進員

以上の発表がありました。



①では、福祉部の目標『子どもたちも、ひとり暮らしでも、認知症になっても、自分らしく安心して暮らしていける佐世』を目指す4つの重点活動についてのお話。

②重点事業のひとつである“いきいき・ふれあいサロン”での取り組みについて、副部員としてどうかかわっているのか、またサロンを自分自身が楽しんでいる思いなどをお話していただきました。

③では、福祉推進員となりその中で特に感じたことや自治会福祉部員の地道な活動が福祉を支えていることへの感謝、おしゃべり好きな女性の力が福祉活動には必要であることなどお話していただきました。



白寿表彰の家族の方と米寿表彰の皆さん

続いてのサブテーマ『安心・安全で住みよい佐世に』では、大東町の女性の集い啓発部による「認知症を正しく理解して住みやすい地域に！」の寸劇を観劇しました。



認知症のおじいさんとおばあさんを**できるだけ怒らないように**介護するお父さんとお母さん。

孫は学校で認知症を学び**できるだけやさしく**接しようとする。

徘徊したお爺さんを**やさしく家に送る**駐在さん。

そして周りの人に対して**認知症の家族がいることを伝えようと話し合う家族**を熱演していただきました。

佐世地域では、“認知症の家族がいることが話せる地域したい”取り組みをし

ているので、それにマッチしたリアルな内容でした。「まるで我が家に来て見とらいたみたいで、涙がでたわ…」と感心して感想を話された人もありました。

寸劇の後は“生まれ育った故郷を大切にしよう”と、みんなで『ふるさと』をうたい、佐世地区への思いを更に深めることができました。

最後は、『力を合わせて一歩前進』の懇親会。



飲み物を注ぎ合いながら、久しぶりの交流を楽しみ、和やかでにぎやかな懇親会となりました。

地域の皆さんが、自分らしく安心して暮らしていくことができる温かい福祉がより一層充実していくことを願い、大会を閉じました。